

前穂高・奥穂高岳

小梨平前泊～25 キロ 16 時間の道程～

2014 年 7 月 26 日～27 日（土・日）

L：平川 城太郎、非会員 2 名

7 月 26 日（土） 晴れ

仕事が午前中まであったこともあり、夕方に平湯から沢渡とへ抜け上高地入りした。天気もよく、梓川畔の小梨平キャンプ場で一晩を過ごす。今回は健脚の大学友人 2 名と長い道程を過ごすことになる。



18:00 河童橋前にて

ここで早速事件が、メンバー1名のヘッドランプが点灯しないという事態が発生したが、電池交換をして無事に回復。

7 月 27 日（日）曇りのち雨

深夜に起床し、テント一式をデポしたまま一路、岳沢登山口を目指す。



深夜 2:30 小梨平から梓川を渡る

ともかく虫が多く、心が折れそうになること 2 時間、明るくなる頃に岳沢小屋に到着。朝食を済ませ急登が続く重太郎新道を登った。次回は虫除けの蚊帳を買おうかと真剣に思ったくらいである。



4:30 岳沢小屋で朝食を済ます

この頃から天気が悪くなり、この先進んでよいかと真剣に悩んだ。午後から回復傾向という情報もあり、前進する事に。



6:00 重太郎新道、カモシカの立場

奥穂高山荘で長めの休憩をとり涸沢も目指した。途中から天気も回復傾向で、ザイテンクラートの残雪も少なく比較的歩きやすい岩稜帯であった。



13:00 涸沢カール

紀美小平に到着した頃には雨と風が強く前穂高岳登頂は断念し、奥穂高岳を目指す事にした。吊尾根を進むにつれてさらに天候は悪化し、風速は15m程で視界も10m程度となり、次第にメンバーの士気も下がってきた。登山者も少なく、豪雨だった奥穂高岳に到着した時は1組のパーティーに偶然にも遭遇した。



14:00 天気も回復傾向



10:00 奥穂高岳山頂で証拠写真



15:00 本谷橋では快晴に (平川 記)